

## 20 物品販売店舗等

【関連章第7章3】

### 事例1 「スマートフォンのバッテリー交換時に出火した火災」

**出火時分** 6月 15時ごろ  
**用途等** 複合用途（映画館・物品販売店舗等） 耐火造 6/1 延 108,000 m<sup>2</sup>  
**防火管理** 該当選任あり 消防計画あり  
**被害状況** 建物ぼや1棟 スマートフォン1台焼損  
**概要**

この火災は、店舗従業員がスマートフォンのバッテリーを交換する際に、誤って工具をバッテリーに刺してしまったため、バッテリー内部で短絡し出火したものです。

作業をしていた店舗従業員は、スマートフォンからバッテリーを外す作業をしていたところ、バッテリーから煙が出てくるのを発見したため、すぐに作業台付近に備えてあった乾燥砂入りの鍋のなかにスマートフォンを入れ初期消火を実施しています。その後、店舗従業員は防災センターへ火災があった旨を報告し、現地確認をした防災センター職員が、119番通報しました。

#### 教訓等

最近のスマートフォンや携帯電話などのリチウムイオンバッテリーは、一般的に取り外しができないような仕様が増えているため、取り外し作業の際に工具等を使用することで、外部からの強い圧力や局所的な圧力により内部のセパレータを貫通して短絡し白煙を噴出し出火することがあります。リチウムイオン電池は、一般的な電池と比べると、高容量、高出力となっており、火災の契機となった場合、周囲に可燃物があると、延焼拡大する危険性があります。

バッテリーを使用した機器の交換や修理が必要な場合は、機器の取扱説明書を確認し、製造会社や販売会社等に相談しましょう。



写真 20-1 焼損した携帯電話の状況



写真 20-2 作業時の再現状況